

第1回真鶴駅周辺地区構想検討会議 議事録

日時：平成30年9月26日（水）15:30～17:00

場所：真鶴町町民センター2階会議室

1 開会

みなさんこんにちは。

本日は公私ともにお忙しい中、第1回真鶴駅周辺地区構想検討会議に出席いただき誠にありがとうございます。

早速ではありますが、お手元にあります資料を確認させてください。

まず、本日お集まりの皆さまに委嘱状を発行させていただきましたので、よろしくご査収ください。

次に事前にお配りさせていただいた平成29年度真鶴駅周辺環境整備基本計画の概要版をお持ちでない方につきましては、予備に数冊用意しておりますのでお申し出ください。

2 議題

（1）委嘱状交付（机上配布）及び委員の紹介について

・各委員自己紹介

（2）会長、副会長の選任について

・会長 秋田 典子氏

・副会長 岡村 敏之氏 を選任

（3）これまでの経緯等説明

・事務局より説明

（4）真鶴駅周辺地区構想について

・事務局より説明

・以下委員意見

A 課題

【全体】

- ・現行の基本計画がベースになるのか？
- ・駅・人・まち・観光、すべてをつなげていくことが必要
- ・国道と線路により南北を分断された町であり、これをどう活かすかが課題
- ・不足する機能や課題の整理が必要
- ・駅周辺だけでなく他地区との連動も考える必要がある
- ・観光地まで人を動かす手段の検討が必要
- ・町民の望み、観光客の誘致、両立が必要
- ・湯河原と真鶴は観光地として一つである

【ランドデザイン】

- ・莫大な借金を抱えることはしたくない
- ・若者に借金を残したくない
- ・身の丈にあった取り組みをすればよいのではないか

【駅前交差点】

- ・駅前を通る車が増えた
- ・交差点が危険
- ・渋滞する
- ・歩くスペースがない
- ・他県から来る車には難しい交差点である
- ・歩行者が安全に通行できない
- ・今年に入り死者が2名、交通安全も大事である
- ・渋滞したほうが事故は少ないのではないか

【隧道】

- ・隧道が危険で暗い
- ・拡幅するなら周辺の民間の方々の理解が必要

【景観】

- ・駅前は素朴でよいが統一感がない

B 解決方策

- ・ベースではあるがあくまでたたき台である

【ランドデザイン】

- ・住民投票で覚悟を聞くことも必要ではないか
- ・目的を持って整備したほうがよい

【駅前交差点】

- ・商工会・パチンコ屋等をやめてパーク・アンド・ライドを
- ・ロータリーは機能重視で
- ・歩行者信号をつけてほしい（時差式）

【駅】

- ・駅は通過点になっている
- ・派手な駅ビルは不要

【駅北】

- ・駅北側からの移動が大変
- ・社会福祉施設の機能とは？防災機能も考えたい
- ・中学校の改修も必要ではないか

【駅北】

- ・駅南北の行き来を（道路・橋梁）

【駐輪場】

- ・駅前駐輪場の再整備が必要
- ・動線が悪い・右へ出にくい

【商店街】

- ・シャッター通りになっている
- ・買物が不便で町の活性化につながっていない
- ・駅前の商店街を盛り上げることが必要
- ・おもてなしが足りない

【商店街】

- ・商店街に滞留機能を持たせる
- ・空き店舗の活用を
（常設型のサロン等高齢者のための整備も）

【真鶴らしさ（望ましい姿）】

- ・過剰な整備は不要
- ・人口 7,000 人のまちに相応しい整備を
- ・次世代の重荷にしないため維持管理も検討したい
- ・美のまちにふさわしいイメージ
（人を優先する機能、ゆったりとした時間の流れを感じる空間、実現性を考える）
- ・皆が知らないところを発見できるのが魅力
- ・キーワードは、過ごしたくなる、歩きたくなる、降りたくなる、乗りたいくなる
- ・強みは、駅ホームから海が見えるところ、遮るものがない視界の広さ（駅を降りると残念）

（５）今後のスケジュールについて

- ・11月に第2回、1月に第3回会議を予定

3 その他

- ・特になし

4 閉会

以上を持ちまして第1回真鶴駅周辺地区構想検討会議を終了します。